

## 1710 | 情報教育法Ⅱ

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

大坪圭輔教授、栗田るみ子講師、小林道夫講師

## 授業の概要と目標

普通教科「情報」の指導を中心とした「情報教育法Ⅰ」の受講を前提に、「社会と情報」「情報の科学」の2つの教科内容の指導方法を中心に講義を行う。特に、指導の工夫を高等学校における実践例をもとに解説し、学習指導の在り方を考察する。機器やソフトウェア等の教材の活用方法を含めて行うが、コンピュータ関連の技術の進歩のなかでは特定技術に依拠した指導方法は有効とは言えず、受講者にはあくまでも教材活用の基本を獲得することを期待する。なお、面接授業においては、授業計画案についてのレポート等の課題の提出を求め、発表・講評などを行う。レポートの書式は自由とし、各自の指導したい内容をまとめる。

## 課題の概要

## ○通信授業課題

情報科の授業題材として「情報化が社会に及ぼす影響」の事例をひとつ取り上げ、その目的や方法を論述すること。

## ○面接授業課題

普通教科「情報」の学習指導計画案についてレポートを作成すること。

面接授業には通信授業課題を持参すること。

\* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

通信授業



面接授業

## [通信授業]

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 情報編』の普通教科「情報」の部分において、以下の内容を理解すること。

第2章 共通教科情報科の各科目

第3章 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

## [面接授業]

「情報教育法Ⅰ」の学習と「情報教育法Ⅱ」の通信授業課題、および面接授業での学習指導案作成を踏まえて、高等学校における情報教育を考える。

## 1 高等学校「情報」における学習指導案と年間指導計画

普通教科における実践例の紹介／専門教科における実践例の紹介

## 2 「情報」教育の広がり

小中学校の教育との連関／総合的学習の時間や他教科との連関／社会教育との連関／情報社会と情報倫理

## 3 年間指導計画をつくる（レポート提出及び講評）

各自の構想する授業実践を年間指導計画に位置づけて発表すること。

## 成績評価の方法

面接授業課題についての講評結果などを基に評価する。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 3～4年次

[履修条件] 教職課程（高校1種 [情報]）に登録していること。

「情報教育法Ⅰ」の単位を修得しているか、同時に履修すること。

[備考] 「情報教育法Ⅰ」を2年次に履修し、「情報教育法Ⅱ」を3年次に履修するのが望ましい。

3年次編入学生は、ともに3年次に履修すること。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

---

教材等

教科書：文部科学省『高等学校学習指導要領解説 情報編』（開隆堂出版 2010年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成29年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

\*スクーリング時にセット販売

文部科学省検定済高等学校教科書『社会と情報』、『情報の科学』（日本文教出版）

---

その他

教材等の内容を補う情報がある場合は、ネットフォーラムにより提供するので、参照すること。